

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

2024 年 3 月 26 日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 164-0001

所在地 東京都中野区中野4-11-10 アーバンネット中野ビル

評価機関名 特定非営利活動法人NPO専門職ネット

認証評価機関番号

機構 02 - 009

電話番号 03-5913-6417

代表者氏名 松浦哲哉



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	松浦哲哉	経営	H0301018
	②	菅原百合子	福祉	H0601027
	③	那須真由美	福祉	H2301027
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	ミルクィホーム南大泉園			
事業所連絡先	〒	178-0064		
	所在地	東京都練馬区南大泉4-30-12		
	TEL	03-6904-6691		
事業所代表者氏名	園長 岡 綾妻			
契約日	2024 年 1 月 26 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2024 年 1 月 31 日			
利用者調査結果報告日	2024 年 3 月 6 日			
自己評価の調査票配付日	2024 年 1 月 31 日			
自己評価結果報告日	2024 年 3 月 6 日			
訪問調査日	2024 年 3 月 11 日			
評価合議日	2024 年 3 月 19 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査については、あらかじめ評価実施のお知らせを園を通じて保護者へ周知した。その後、アンケート用紙を調査実施の案内状と返信用封筒(料金受取人払郵便)を添えて園を通じて配付し、直接評価機関へ返送して回収するという形式をとった。職員への周知は、職員への説明会を実施し、第三者評価の理解と記入法等を周知徹底した。事業所の自己評価および集計結果資料に基づき訪問調査を実施した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1) 子どもがいちばん、明るく楽しい保育園 2) 安全 3) 職員間のより良いコミュニケーションづくり 4) 保育力と主体性の向上 5) 子育てのサポートができる家庭的な保育園</p>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割 子どもを一番に考えられる優しい人材を求めている。また、それぞれの職員にも、得意なこと、苦手なことがあり完璧ではないため、お互いをカバーし、また尊敬しながらチームで一丸となって保育にあたることで、子ども一番の保育園づくりができると考えています。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感) 非常に優れた職員が多く、今年度は全員がそれぞれのかたちで力を発揮している理想的な体制ではある。今後求められる使命感に関しては、若手(20代、30代)の職員が、潜在的にもっている力をもっと主体的にだしていき、今後の保育園を担っていく責任感を育ててほしい。その中でも、子どもに対して「優しい先生」という事だけは根底に、次の世代へとつなげていき、いつまでも子どもにとって「優しい保育園」づくりをしてほしい。</p>

調査対象	調査票配布日現在の子ども総数69名に対する保護者世帯(66世帯)を単位として対象とした。
調査方法	利用者調査実施の案内状と返信用封筒(料金受取人払郵便)を添えて、アンケート用紙を園を通じて配付した。記入後のアンケートは、園を介さずに、直接評価機関へ郵送という形で回収した。
利用者総数	69
利用者家族総数(世帯)	66
共通評価項目による調査対象者数	66
共通評価項目による調査の有効回答者数	34
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	51.5

利用者調査全体のコメント

総合的な感想としては、「大変満足」(55.9%)、「満足」(38.2%)という回答が、併せて94.1%寄せられており、肯定的な回答が極めて多数である。これに対して「不満」という回答(2.9%)、未記入・無回答(2.9%)も見られた。具体的には各設問のうち、問1「子どもの心身の発達」、問2「園での活動」、問3「提供される食事」、問5「利用時間の変更」、問6「安全対策」、問7「行事の日程」、問8「信頼関係」、問9「園内は清潔で整理」、問10「職員の言葉遣い」、問11「子どものけが」、問13「子どもの気持ち」、問14「プライバシー」、問15「保育の説明」、問16「要望」などに関して、「はい」という回答が80%以上あり、その評価は高い。これに対して、問17「職員以外の相談」については、「はい」という回答(50%)が多数であるが、「どちらともいえない」という回答(26%)、「非該当・無回答」という回答(21%)、「いいえ」という回答(3%)に分かれている。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	34	0	0	0
回答者の全員が「はい」と答えている。極めて高い評価を受けている。具体的意見はなかった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	31	2	1	0
多くの利用者(91%)が「はい」と回答している。これに対して、「どちらともいえない」という回答(6%)、「いいえ」という回答(3%)が、少数ではあるがみられた。具体的には、「子どもたちのやりたい気持ちを引き出して欲しい」という意見が寄せられている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	31	2	1	0
多くの利用者(91%)が「はい」と回答している。これに対して、「どちらともいえない」という回答(6%)、「いいえ」という回答(3%)が、少数ではあるがみられた。具体的には、「お腹が満たされているか」という意見が寄せられている。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	26	6	2	0
多くの利用者(76%)が「はい」と回答している。これに対して、「どちらともいえない」という回答(18%)、「いいえ」という回答(6%)がみられた。具体的には、「あまり園外に出ていなかった印象」という意見がみられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	28	4	0	2
多くの利用者(82%)が「はい」と回答している。これに対して、「どちらともいえない」という回答(12%)、「非該当・無回答」(6%)がみられた。具体的な意見がなかった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	29	5	0	0
多くの利用者(85%)が「はい」と回答している。これに対して、「どちらともいえない」という回答(15%)がみられた。具体的には、「外部の人でも比較的容易に入れてしまう」という意見がみられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	33	1	0	0
多くの利用者(97%)が「はい」と回答している。これに対して、「どちらともいえない」という回答(3%)がみられた。具体的には、「保護者会が、土曜開催で助かりますが、その時間子どもを預かってもらえない」という意見がみられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	31	2	1	0
多くの利用者(91%)が「はい」と回答している。具体的には、「どのように対応したのかしっかりと説明して頂ける」という意見がみられた。これに対して、「どちらともいえない」という回答(6%)、「いいえ」という回答(3%)が、少数ではあるがみられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	31	2	0	1
多くの利用者(91%)が「はい」と回答している。これに対して、「どちらともいえない」という回答(6%)、「非該当・無回答」(3%)がみられた。具体的には、「おもちゃは消毒して下さっている」という意見や汚れが気になる箇所を指摘する意見がみられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	31	1	1	1
多くの利用者(91%)が「はい」と回答している。これに対して、「どちらともいえない」という回答(3%)、「いいえ」という回答(3%)、「非該当・無回答」(3%)が、少数ではあるがみられた。具体的な意見がなかった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	31	1	1	1
多くの利用者(91%)が「はい」と回答している。具体的には、「しっかりと報告してもらえる」という意見がみられた。これに対して、「どちらともいえない」という回答(3%)、「いいえ」という回答(3%)、「非該当・無回答」(3%)が、少数ではあるがみられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	26	5	0	3
多くの利用者(76%)が「はい」と回答している。具体的には、「しっかりと報告してもらえる」という意見がみられた。これに対して、「どちらともいえない」という回答(15%)、「非該当・無回答」(9%)が、少数ではあるがみられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	30	3	0	1
多くの利用者(88%)が「はい」と回答している。これに対して、「どちらともいえない」という回答(9%)、「非該当・無回答」(3%)がみられた。具体的な意見がなかった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	29	3	0	2
多くの利用者(85%)が「はい」と回答している。具体的には、「しっかり対応」という意見がみられた。これに対して、「どちらともいえない」という回答(9%)、「非該当・無回答」(6%)がみられた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	29	4	0	1
多くの利用者(85%)が「はい」と回答している。これに対して、「どちらともいえない」という回答(12%)、「非該当・無回答」(3%)がみられた。具体的には、「先生とお話しする機会があまりない」という意見がみられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	28	1	1	4
多くの利用者(82%)が「はい」と回答している。これに対して、「どちらともいえない」という回答(3%)、「いいえ」という回答(3%)、「非該当・無回答」(12%)がみられた。具体的な意見はなかった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	17	9	1	7
多くの利用者(50%)が「はい」と回答している。具体的には、「区の施設を紹介頂きました」という意見がみられた。これに対して、「どちらともいえない」という回答(26%)がややみられた、また「いいえ」という回答(3%)、「非該当・無回答」(21%)もみられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
カテゴリー1		
1	リーダーシップと意思決定	
サブカテゴリー1(1-1)		
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 <b>7/7</b>
<b>評価項目1</b> 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目3</b> 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー1の講評		
<p><b>理念に基づく保育を明確にしている</b></p> <p>「子どもがいちばん」等の理念に基づき、保育園として子どもの利益を大事にして保育園を運営する姿勢を明確にしている。職員の理解が深まるように、新年度に向けての職員会議で、事業所の理念などを記したプリントを配付し、読み合わせを行なっている。また、園の包括的な基本方針を定めた「全体の計画」のなかで、事業所が目指していることを記載し、保護者にも伝えている。</p> <p><b>経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている</b></p> <p>園長をはじめとする経営層は、職員会議や担任会議、各ミーティングのなかで、具体的な案件と事業所の理念などとの関連について常に言及し、自らの役割や責任を職員に伝えている。特に、問題が起きたときなどには、職員全員が保育園の理念を共有し、解決していきけるように促している。</p> <p><b>重要な案件については、一定の手続をへて決定している</b></p> <p>重要な案件については、園長と主任・副主任と合議をした上で、担任会議、ミーティング、職員会議で検討している。また会議に参加できない職員に対してはメールで周知している。重要な意思決定については、議事録、回覧用園メールにて、職員に伝えている。また、利用者等に対しては、園だよりや連絡アプリを使って伝えるようにしている。</p>		

カテゴリー2

2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー1(2-1)

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6

評価項目1  
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評点(○○○○○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/5

評価項目1  
事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点(○○●)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
着実な計画の実行に取り組んでいる 評点(○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

アンケートによる利用者の意向把握、個人面談による職員の意向把握をしている  
利用者に対しては、各行事のアンケートと年1回の保育園のアンケートをとり、利用者の意向把握をしている。また、職員に対しては、園長による職員への個人面談を実施し、その結果を「職員面談シート」に記載し、事業所運営に活かしている。また、日常的な職務に関して、職員が主任・副主任に直接相談ができるように環境整備を行なっている。

地域の現状、子どもの状況に関する情報を収集している  
地域の福祉の現状については、区からの情報やニュースなどをファイル化することで、情報を収集している。また、幼稚園・保育園・小学校が連携して地域の子どもの発達を把握し、早期支援につな「幼保小連携の交流会」などに参加することで、地域における子どもに関する情報を収集している。事業所の経営状況については、本社運営と話し合いながら、解決すべき課題などについても検討している。

来年度の新しい制度実施に向けて、検討している  
事業所としては、来年度からは保護者のおむつや洋服の持参をなくする制度を部分的に導入することを予定している。また3歳児体験保育を実施し、定員への空きへの対応していく予定である。また、年間カリキュラム、月案、年間予定表作成については主任、保育リーダー担当職員が主体的に行なっている。できる限り勤務時間内で、策定と実行ができるように工夫して時間の確保を作っている。

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

### カテゴリー3の講評

#### 職員が守るべき規範について、園長が説明し、職員に周知している

園長は、新年度に向けての会議において、職員が守るべき規範として服務規程に関して具体例も含めて説明している。その際、服務規程についてプリントを職員に配付し、周知に努めている。職員の規範の遵守について気になる事項が発生したときには、年度の途中でもその都度、会議でまたは個別に職員に直接話をしている。

#### 苦情解決制度、意見の受付などについて保護者に説明している

利用者に対して、苦情解決制度の利用について入園時に重要事項説明書を通して伝えている。また、重要事項説明書の中で、利用者の「ご意見・ご要望・ご相談の受付」についても、受付担当者、解決責任者、第三者委員などのしくみを図式して、連絡先も含めてわかりやすく説明している。

#### 職員の不適切な言動、虐待が行なわれないようにしている

子どもの利益を大事にするという観点から、子どもに寄りそいながら保育を実施することを職員に求めている。例えば、子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動や虐待が行なわれないように、各種会議において相互に注意をするとともに、「NGワード」という文書で、使ってはならない言葉などについて明確にしている。また、家庭において子どもの虐待などが疑われることを発見したときには、地域の関係機関と連携しながら対応するようにしている。

カテゴリ-4		
4 リスクマネジメント		
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>事故記録、ヒヤリハット検証記録を残し、避難訓練なども実施している</p> <p>事故については、事故記録を残し、ヒヤリハット検証記録などから、原因の分析と再発防止に向けた取り組みについて職員会議等で検討し、職員に周知している。その他、避難訓練を実施し、アレルギー対策、安全対策については研修に参加して、研修の内容を職員に報告し、環境設定の見直しをしている。さらに、災害に関しては、東日本大震災における保育園の対応についての外部の講義に出席し、災害時の職員の時差退園計画を作成している。</p> <p>災害時の事業継続計画を策定している</p> <p>災害時の事業継続計画については、本社で作成された計画をもとに策定している。特に、災害時の対応方法については、「災害時フローチャート」としてまとめ、連絡先も含めて職員が機敏に対応できるように、見やすいところに掲示し、職員に周知している。</p> <p>情報管理のルールについて、職員に説明している</p> <p>職員に対しては、情報管理についての規定・ルールについて、職員会議で説明し、その周知に努めている。特に、児童票その他園児の個人情報に関する紙情報については、事務所内の鍵付きロッカーに保管し、必要なときに限って担任が確認できるようにしている。デジタル情報については、アクセス権限を設定し、基本的に管理者以外は利用できないようにしている。</p>		

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

8/12

評価項目1  
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

評点(●●)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3  
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点(〇〇●●)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4  
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

3/3

評価項目1  
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

人材の募集は、近所への提示物の貼付やインターネットを通じて行なっている

人材の採用は、本社が実施しているが、人材の募集については、園や近所に職員募集の掲示物を貼ることで、広く必要な人材の応募の機会を確保するようにしている。また、インターネットの就職サイトを通じて、どのような人材を求めているのかを明らかにしている。

職員に対し、園内外の研修参加を呼びかけている

クラス会議等を通じて、保育の質を向上させるために保育の振り返りを行なっている。さらに、すべての職員に対して、自分の職務の専門性を高めるため、積極的に園内外の研修に参加することを呼びかけている。特にテーマによっては外部研修の紹介を行ない、研修報告書の提出を求めることで情報の共有をはかっている。

クラスミーティング、職員面談を通じて、職員の配置の適否について把握している

こまめにクラスミーティングを実施し、仕事の内容がその職員に適しているかどうかを確認し、アドバイスするようにしている。また、職員の個々の状況を把握するために、職員面談をして、職員の定着と職務に関する能力向上について相談しやすい環境づくりをしている。場合によっては、個々の職員に適した人員配置を行なっている。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

職員一人ひとりが、主体的に様々な意見を出し合うなか、より良い保育園を作ることを重要課題とした。そのため、行事の係などを立候補制にして自分がやりたいことに取り組めるようにした。また、会議の進行や係を任せることで、自ら計画して今後すべきことを考えてもらう環境作りを目指した。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

会議に進行において、それぞれの職員が様々な意見を出すようになり、良いアイデアなども生まれるようになった。しかし、まだ管理者が意見を出してしまい、そのことで職員の意見が抑制的になることもみられるという意見もある。今後とも、職員の自発的な取り組みを尊重する働きかけが求められる。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなけている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

子どもの利益を一番に考えた保育の実現のため、職員間の考え方の一致を図ることを重要課題とした。そのため、若手(20代、30代)の職員と長く勤務する職員とが、チームを作って保育を実践することを目指した。

目標の設定と取り組み	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
取り組みの検証	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
検証結果の反映	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

若手の職員も、ベテランの職員もそれぞれのかたちで力を発揮している。ただ、職員一人ひとりの保育への取り組みと園全体で子どもの利益を第一に考える保育の実現との関連づけが十分とはいえない。今後とも、具体的な課題の解決に向けて、チーム作りと職員相互の話し合いが期待される。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
サブカテゴリ1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)	
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ1の講評			
<p>ホームページその他を通じて、園の情報を提供している 園の情報は、ホームページやリーフレット(「保育園あんない」)に、施設概要、保育理念、保育方針、保育目標、特徴、1日の流れ、年間行事予定等、項目ごとにさまざまな情報を掲載している。これによって、利用者の知りたい情報をわかりやすく提供している。</p> <p>利用希望者に対する見学を実施している 利用希望者の見学は、10時と15時30分に主任が担当し、一組ずつ受けて入れて丁寧な説明をしている。「保育園あんない」というリーフレットを渡して、色々な質問に答えている。また、見学は園内の施設の他、クラスで遊んでいる子どもの様子を見てもらったり、時には一緒に遊ぶなど個別に対応している。夏から秋にかけては、平日に一日3件ほど、見学を受入れている。</p> <p>保育の内容をホームページで利用希望者に紹介している 区のホームページの保育園紹介サイトに保育内容など掲載している。また、同サイトにリンクされた園のホームページに、保育園の内容が詳しく掲載されているので、より多くの利用希望者に役立っている。</p>			

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当	
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー2の講評			
<p>重要事項説明書等により、保育園利用の基本的ルールを保護者に説明している            入園説明会において、重要事項説明書等を活用して、保育園利用の基本的なルールや大切なことを具体的に説明している。そして、重要事項説明書と同意書に、保護者の確認サインをもらうことで、説明の内容に齟齬が生じないようにしている。</p> <p>入園する子どもの情報については、保護者から具体的に提供を受けている            入園に際しては、面談シートに特記事項(健康の記録、入園前の生活状況、家庭状況書、食品チェック表)を保護者に記入してもらい、職員が面談の際に、保護者の個別要望も記載している。保護者には、児童票・個人調査票にも記入してもらっている。これらの書類は、個人別に整理して保育園に保管しており、職員は必要に応じて確認している。</p> <p>慣らし保育により、子どもの不安やストレス軽減に配慮している            利用開始直後の子どもの不安やストレス軽減に配慮し、保護者と話し合いながら、ゆったりしたスケジュールで慣らし保育を実施している。また、入園当初は、登園や退園の際にできるだけ担任が園での子どもの様子を、口頭で保護者に伝えている。また、連絡アプリなどを使って、きめ細かく保護者に状況を伝えることで、保護者の不安、要望等に応えている。</p>			

サブカテゴリー3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況

13/13

評価項目1  
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を  
個別のサービス場面ごとに明示している

評点(○○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3  
子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

評点(○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4  
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(○○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー3の講評

子どもの状況については、一定の書式に記載し、職員間で話し合いを行なっている

子どもの心身の状況や生活状況については、園で定めた統一様式(月案、個人記録、引き継ぎ簿など)に記録し、把握するようにしている。月案には、個別欄を作り、クラスミーティングで一人ひとりについて話し合うようにしている。話し合った内容は議事録に記載し、職員間で共有している。特別な配慮が必要な子供については、個人別のファイルを作り、診断書や保護者とのやり取りなどの状況を記入して対応している。また、必要に応じて保護者に面談し、今後の計画を立てている。

全体的な計画、年間指導計画その他の書面を作成し、定期的な見直しも行なっている

園の目標や目指す子ども像、身に付けてほしい資質や能力について、長期的な視野にたつて「全体的な計画」を作成している。それをベースに、各年齢ごとに、年間指導計画、月案、週案を作成して、評価や反省をして、定期的に見直すことで、次期の保育に活かすようにしている。0~2歳児については、各自の発達状況を踏まえて、個別の指導計画を作成し、発達に応じて、日々を楽しく過ごせるように配慮している。

子どもへの指導計画については、保護者にも伝えている

指導計画は、保育室に掲示し、保護者からの質問にも答えられるようにしている。また、参観日には、日案を保護者に配付している。日々の子どもの様子や変化、さらに保護者からの問い合わせについては、職員間の連絡ツールとしてアプリを活用して、情報を共有している。

サブカテゴリ-5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5

評価項目1  
子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-5の講評 講評タイトル①を入力してください

子どもに関する情報を外部とやり取りするにあたっては、保護者から同意書を取得するようにしている。また、子どもの羞恥心に配慮して、着替えの時やプール遊びのときには、カーテンなどで外部から見えないように注意を払っている。

子ども一人ひとりの家庭環境や保護者の価値観、性格やその時の気持ちを大切にしながら保育を実施している。園の目標として「子どもがいちばん」を掲げ、職員には、様々な背景のある家庭について配慮するとともに、個人情報保護の視点から、他言したり、噂話をしないように指導している。

保護者に育児不安等が見られるときは、保護者の希望の応じて個別の支援を行なっている。また、不適切な育児が疑われる場合には、関係機関と連携し、適切な対応を図るようにしている。職員がこれらのことに早めに気づけるように、各種の研修の受講を勧めるとともに、園内の会議等で気軽に相談できるようにしている。

サブカテゴリ-6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

5/5

評価項目1  
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-6の講評

講評タイトル①を入力してください

園が目指す保育所の運営について、提供しているサービスの基本的事項や手順を明確にした手引書を作成し、園内での研修や方針の検討の際に、参考にするようにしている。また、各職員が、それに沿ったサービス提供を行なっているかどうかについては、園長及び主任等が点検している。今後は、さらに職員からの改善提案も含めて、手引書の活用や見直しを積極的にすすめていくことが期待される。

提供しているサービスの見直しは、年度が変わる時期である1月から2月にかけて主任、園長、本社運営と合わせて実施している。見直しの際、保護者の意見は連絡アプリを使用したアンケート機能で意見や提案を収集し、サービス提供に反映させるようにしている。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	36/36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子ども一人ひとりについて、職員間で話し合い、保育に役立てている</p> <p>職員は、個別指導計画、児童票、連絡帳、登降園時の保護者とのやり取りを通じて、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握している。また、クラスミーティングで、子どもたちが何に興味を持ち、どのような成長の姿を見せているかについて話し合いをし、その他会議や記録を職員間で共有することで、保育に役立てている。また、担任がクラスの状況を見て、コーナー遊びなどの環境や玩具、保育室の装飾なども見直している。</p> <p>異年齢の子どもによる合同保育を適宜取り入れている</p> <p>年齢ごとの保育を基本としながら、朝・夕の時間帯は、年間を通して合同保育(異年齢交流)を実施している。朝・夕の時間帯は、子どもの顔ぶれも同じことが多いので、家庭的な落ち着いた関係が築かれている。また、散歩に出かけるときも、異年齢の子どもで行くことが多く、子どもたちの人間関係が広がり、お互いを尊重する心が育つよい機会となっている。</p> <p>子どものトラブルへの対処などについて、職員に対して個別のアドバイス行なっている</p> <p>発達過程で生じる子どものトラブルについては、決して否定することなく、それぞれの気持ちに配慮しながら解決するように、職員に促している。また、ヒヤリハットの記録などの分析の中から、配慮が足りなかった職員については、個別にアドバイスを行なっている。小学校教育への円滑な接続に向けては、今年度より小学校の交流会に参加を予定している。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登園、降園時に子どもの様子を保護者に伝えている</p> <p>登園の際に、子どもの様子を保護者に確認している。また、朝の視診により、子どもの健康状態を確認し、配慮すべき点があれば、引き継ぎ簿に記載することで、職員間で情報共有している。降園時には、毎日ではないが、なるべく担任または担当職員がその日の出来事や連絡事項を保護者に伝えるようにしている。</p> <p>子どもの生活習慣について、個人別カリキュラムを作成している</p> <p>子どもの発達状況に応じて、食事や排せつなどの基本的な生活習慣について、家庭での様子を聞きながら、個人別カリキュラムを作成している。また、これらの状況について、クラスにて職員間でミーティングを重ねながら、日々の保育で実践をしている。特に、食事や排せつ、服の着脱などについては、子どもに寄り添って、「自分でやりたい」気持ちを大切にしながら、対応している。</p> <p>一人ひとりの子どもに考慮して、適切な休憩が取れるようにしている</p> <p>一人ひとりの子どもの生活リズムや体調を考慮して、適切な休憩が取れるようにしている。特に、0歳児には、個々の発達を考慮して、午前寝を実施したり、夕方寝を取り入れるなど柔軟な対応を行なっている。1歳児以上については、午前中はなるべく公園などで外気に触れ、身体を思いきり動かして遊ぶことを心がけ、昼食後にスムーズに午睡に入れるようにしている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがまじりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの自主性を発揮できる保育を行なっている</p> <p>子どもが自分の感情や意思を持ち、やりたいことを自分で決めることを、できるかぎり尊重する保育が行なわれている。そのため、子どもが好きな遊びを十分にできる時間と空間を確保するようにしている。例えば、保育室内の環境設定や玩具などは、年齢や興味などを考慮しながら、子どもの成長に合わせて定期的に見直している。</p> <p>子どもの成長に合わせたカリキュラムが実施されている</p> <p>毎日の歌や体操、手遊び、製作などが、子どもの成長に合わせてカリキュラムに反映されている。例えば、英語になじむための外部講師による英語の歌を取り入れた活動や、音感、リズム感、運動能力を伸ばすリトミックも取り入れている。また、好きな絵本を題材にして、劇遊びを楽しんだりしている。これらにより、子どもの表現の幅を広げるように配慮している。</p> <p>近隣の公園などに出かける際、子どもに言葉がけをしている</p> <p>近隣には、公園がたくさんあり、子どもたちは四季折々の自然に触れることができる。職員は、公園に出かける前に、公園の木や草花、木の実、虫、鳥などについて、子どもに言葉がけをして、子どもが季節の移り変わりに興味を持てるようにしている。また、散歩の途中で、交通ルールなども学べるように、子どもの注意を促している。子どもたちは、遊びの中から、物の貸し借りや順番、公共施設の利用の仕方なども自然に身に付けることができている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもが興味関心が持てる行事を企画している</p> <p>子どもが行事に対して興味や関心を持てるように働きかけている。乳児クラスでは、毎日の生活の積み重ねの延長として行事を行なうようにしている。幼児クラスでは、より主体性を尊重し、自ら頑張ろうという気持ちを大切にしている。保護者参加型をはじめ、子どもの成長が感じられ、楽しんでもらえるような行事を企画している。</p> <p>職員間で行事のねらいや取り組みについて事前に確認している</p> <p>事前に職員間で行事のねらいや各クラスごとの取り組みについて確認している。そのことにより、子どもが年齢に応じた達成感を味わえるように務めている。生活発表会では、劇遊びや楽器遊びによる合奏なども取り入れ、子どもが皆で一つのを作り上げる喜びを体験できるようにしている。</p> <p>行事予定表その他で保護者に伝えている</p> <p>行事について、年間行事予定表、園だより、各種連絡を保護者に配付することで、保護者の理解と協力を得るようにしている。運動会や遠足、夏まつりなど親子での参加の機会を設けたり、持ち物を準備することで、保護者と連携を強めている。行事を実施の際には、アンケートを取り、来期の行事の企画に活かすようにしている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間の長い子どもには、各種の配慮をしている</p> <p>保育時間の長い子どものために、保育室をゆったり使用することで、くつろげるような雰囲気を心がけている。子どもたちは、保護者が迎えに来るまで、好きな絵本を見たり、玩具で遊ぶことで、自由な時間を過ごすことができる。また、好きなコーナーで、異年齢の子どもが交流できる環境になるように配慮している。</p> <p>子ども一人ひとりの状況に応じた支援を行なっている</p> <p>子どもは、昼間とは違って、異年齢児の子どもとの遊びや一人遊びを体験することで、楽しく過ごしている。その際、職員は、子どもの気持ちを第一に考え、一人で過ごしたい子どもには、自分の好きな玩具などで、自分のペースで遊ぶことができる。職員も子供の状況に応じて、柔軟に支援している。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当

評価項目6の講評

食事について、清潔な室内環境を設定している

食事の時間帯は、子どもの年齢に応じて設定し、清潔な室内環境のもとで食事が提供されている。職員を各テーブルに目が行き届くように配置し、子どもが楽しく食事ができるようにしている。また、必要であれば職員が食事に手を添え、子どもが安心して食事を取れるようにしている。さらに、好き嫌いがあっても、無理強いしないようにしている。

アレルギーに対応した、子どもの支援を行なっている

入園の際に、アレルギーの調査を行ない、アレルギーがある場合には、医師の指示書に基づいて除去食を提供している。その際、アレルギー対策としてアレルギー児のテーブルや食器は別のものしている。ただし、アレルギーのある子どもの気持ちに配慮し、できるだけ見た目を変えないようにしている。

行事食、園庭での野菜づくりなど、子どもが食への関心をもてるようにしている

行事食メニューは、いろいろや季節感などを見ても楽しく食べられるものを用意している。園庭の畑でできたトマトやナスなどの野菜を調理して食べている。子どもに食事に興味を持ってもらうために、幼児クラスではおむすび作りやアイスクリーム作りなどを行なっている。保護者に対して、来年度は体験保育、参加型保育参観で給食試食会を実施する予定にしている。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気がけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

子どもが自らの健康や安全に、関心を持つように働きかけている

毎月の身体測定、年2回の内科健診、歯科検診を行ない、子どもが自らの健康や安全について関心を持つように支援している。幼児クラスの場合には、看護師による咳エチケットのおはなし会を実施している。

子どもの体調の把握に努めている

毎日の子どもの体調については、連絡帳に子どもの体調面を保護者に記載してもらい、朝の検温など行ない、担当職員、主任・副主任、園長が把握している。園で体調が悪くなった場合には、予め把握している保護者の連絡先に連絡し、お迎えをお願いしている。ケガや様々な病気が疑われるときには、看護師から受診を勧めたりしている。

乳幼児突然死症候群の予防対策を行なっている

乳幼児突然死症候群の予防として、午睡時の部屋の温度のチェックを行なうとともに、0歳児には5分おき、1歳児・2歳児には10分おきにプレステックを行なっている。その際、子ども顔の向きや発汗などにも注意払って確認している。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評		
<p><b>保護者の就労状況を確認し、柔軟に対応している</b> 入園時の個人面談や家庭状況書において、保護者の就労状況を確認している。そして、延長保育や土曜保育を実施することで、できるだけ保護者のニーズに応えられるようにしている。また、急な残業の連絡にも対応し、保護者と子どもの最善の利益を目指して支援している。</p> <p><b>家庭と連携し、子どもの状況を把握している</b> 登降園時の保護者と職員との会話により、子どもの家庭での様子や保育園での様子などについて情報交換を行なっている。職員には、どのクラスの保護者にも明るくあいさつするように指導している。また、連絡帳の記載内容について、職員と保護者が共有することで、相互の信頼関係を構築できるように努めている。</p> <p><b>保護者の悩みや疑問にも対応している</b> 保護者会や個人面談、連絡帳などを通じて、保護者の悩みや疑問の相談を受けたときは、真摯に対応するようにしている。利用者との交流は、参観日や行事を通して交流を図っている。なお、個人面談を年に1回、年に2回春と秋に参加型保育参観を実施して交流を深めている。利用者のニーズに応えるように取り組んでいる。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p><b>子どもが地域の施設を訪問することで、多様な体験や交流を行なっている</b> 子どもたちは、児童館、図書館、学童保育などを訪問し、多様な体験や交流を行なっている。児童館では、いろいろな遊具を使って遊び、図書館では、「読み聞かせ会」に参加したりしている。</p> <p><b>地域の子育て家庭に対する支援を行なっている</b> 夏まつりに地域の子どもを招待したり、「3歳児体験保育」を行なっている。1日の流れに沿って、在園児と一緒に遊んだり、食事をしたりすることで、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している。また、職員は遊びに来ている親子をさりげなく声をかけることで、保護者同士にも会話をする機会が生まれ、地域での子育てに悩む保護者の支援をしている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	2-2-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している
タイトル①	行事に関して、担当職員や分担を決め、進捗状況の確認もなされている	
内容①	計画のうち行事等に関しては、年度の初めに、主任、保育リーダーが働きかけることで担当職員や分担を決めて、職員が主体的に実施するようにしている。また、計画推進にあたり、その都度話し合いの場を設けて、進捗状況を確認することで、職員全員で状況を共有することができている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	3-3-1	透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる
タイトル②	地域との交流を通して、地域貢献や地域と保育園との連携をするように取り組んでいる	
内容②	参加型保育参観を企画して園への見学の機会にしている。写真などを掲示して様子がわかるようにしている。また、近隣の短期大学などに実習生やボランティアの受け入れを働きかけている。地域での集まりには積極的に参加して、就学先の小学校側からの意見や問題点を掴み保育に反映している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの利益を一番に考える保育が実施されている
	内容	「子どもの利益を一番に」という理念に基づき、子どもが自分の感情や意思をもって、やりたいことを自分で決めることができるように、職員が子どもを支援する保育が行なわれている。そのために、入園面談の際の面談シート、児童票、個人調査表をもとに、興味をもっていること、家庭の状況を職員が把握して、子ども一人ひとりのペースや特性、性格に寄り添った保育が実施されている。
2	タイトル	職員相互の信頼関係に基づく運営が行なわれている
	内容	園長は、日頃から職員とのコミュニケーションをとるように心がけており、職員面談も行なうことでより具体的に職員の意向を把握している。また、職員は日常の業務に関して、アプリなどを活用して、情報を共有するとともに、気軽に主任、副主任に相談しながらすすめるようになっている。また、議事運営を担当者に任せることで、職員会議、担任会議、クラスミーティングなどが活性化し、新しいアイデアも出されるようになっている。その結果、業務の改善に向けて、時間配分、人員配置なども迅速に行なわれて、職員相互の信頼関係も高くなっている。
3	タイトル	保育園の取り組みについて、保護者からの高い評価を受けている
	内容	登降園時の保護者との会話、連絡アプリを使った保護者とのやり取りを通じて、子どもの様子を具体的に伝えることが日常的に行なわれている。また、行事アンケートや、年1回の保育アンケートも実施されており、すでに実施されているイベントなどを、よいものにしようにする園の気持ちが保護者に伝わっている。その結果、利用者調査の集計においても、保育園に対して総合的に見て、「大変満足」「満足」という回答が94%を超えるという高い評価が得られている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	子どもの特性を生かした子育て支援に向けて取り組みが期待される
	内容	保護者に対する子育て支援について、職員が保護者の話しをよく聞き、子どもの特性に応じた解決を導き出せるようにサポートする姿勢がとられている。特別な配慮が必要な子どもに対しても、子どもの様子を具体的に保護者に伝えるとともに、解決方法を保護者と一緒に考えていき、場合によっては外部の関係機関との連携も行なわれている。今後は、さらに特別な配慮が必要とされる子どもへの対応について、外部の研修をより積極的に受講するとともに、研修の内容を職員間で討議し、他の子どもたちと共に成長できるように支援していくことが期待される。
2	タイトル	キャリアパスの明確化と体系的な研修計画が期待される
	内容	職員全体の保育の質を上げていくためには、職員がキャリアアップしていく道筋(キャリアパス)を明確にしていくことが大事である。本園でも、職員のキャリアアップのための研修などの受講がすすめられている。しかし、一定期間職務を経験するだけでなく、今後はより専門的な能力を向上させるための個人別の育成計画の立案および職位や給与との連携などの可視化が必要とされいる。また、どのような園を作っていくのかについての中長期計画を職員に示すとともに、そのための体系的な研修計画を策定することが期待される。
3	タイトル	地域に開かれた保育所を目指して、具体的な企画が求められる
	内容	園に通っている子どもの保護者だけでなく、通っていない地域の子育て家庭にも、保育の専門性を生かした支援が求められている。園ではこれまでも夏まつりへの子どもの参加を呼びかけたり、地域の児童館、図書館、児童保育の施設を利用して、地域との交流をはかってきた。今後は、さらに園庭の開放や絵本の読み聞かせなど、地域の保護者が園に参加しやすいイベントを企画したり、体験保育、参加型保育参観、給食試食会などを通じて保護者に声をかけたり、相談に乗ることが期待される。